

吉小わくわくボランティアだより

地域に根ざす学校応援団事業 令和5年3月発行 第23号



コーディネーター 堀 健一
校長 二平 芳信

「ふるさと教育」に手ごたえあり！

校長 二平 芳信

本年度も、ボランティアの皆様のお力添えのお陰で、充実した教育活動を送ることができました。心より感謝申し上げます。

吉田小学校の子どもたちは、「米づくり」「味噌づくり」「鋤起銅器づくり」等、様々な体験活動をとおり、生産者の苦労や伝統工芸の素晴らしさを学ぶとともに、地域の方々の温かさにたくさん触れることができました。これこそ「ふるさと教育」であると実感しています。

今後も、「地域とともにある学校づくり」に努めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。



味噌づくり 感謝の会

3年生は前年の2年生時に仕込んだ味噌の天地返しを7月に行い、12月に実施した感謝の会にこれまでお世話になった樋浦農園さん、食生活改善推進委員、JAの皆様と地域ボランティアの皆様を招待しました。5年生の育てたお米でおにぎりを作り、味噌をつけて食べました。自分たちが育てた味噌の味は格別でした。

大豆の種蒔き



2年生は6月に大豆の種蒔きをしました。その後、11月に大豆の収穫を行いました。12月には収穫した大豆を味噌にするための仕込みをしました。いずれも、指導者やボランティアの方と一緒に活動しました。大豆を仕込むと、来年には味噌ができあがります。今から、3年生になって完成した味噌に出会えることを楽しみにワクワクして待っています。

鋳起銅器 体験



4年生は社会科で「燕市の特色」を学習し、ものづくりのまちとして全国的に有名なことを改めて知りました。そこで、燕市の伝統文化の学習として無形文化財である「鋳起銅器」の体験を1月に行いました。講師には、高橋純一様と高橋輝明様をお願いし、大勢のボランティアの皆様からも手伝っていただきました。実際に模様を打ったり、形を整えたりする作業では、その難しさを実感し、改めてその技術に感動していました。出来あがった作品は、家庭に持ち帰りました。



脱穀作業

5年生は、総合的な学習の時間に稲作体験を行い、社会科の時間に日本の食料生産と結び付けて学習します。春の田植えから秋の稲刈り・脱穀までボランティアにお手伝いいただきました。1月に学習のまとめ発表会と感謝の会を開催し、ボランティアの皆様を招待しました。



田植え

5月 昔ながらの方法で、裸足で田んぼに入り、手植えをしました。米づくりの知恵や工夫、苦勞の一端を感じることができる体験となりました。



米学習感謝の会

1月 米づくりでお世話になった方々をお招きして感謝の会を行いました。家庭科の学習を生かして、育てたお米でご飯を炊きみそ汁を作り、もてなしました。



マラソン大会



交通安全教室



燕ジュニア検定



本の読み聞かせ

『できることを，できる時間に参加する』

吉小わくわくボランティアのモットーです。令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じながら、多くの皆様からボランティア活動に参加いただきました。

＜吉田小学校を支える主な学校応援団体＞

支援団体名	活動内容
燕市交通安全指導隊	隔週の交通安全指導、燕市・警察署と自転車教室の指導を支援。
燕市交通安全協会・吉田支部	登下校時の交通安全指導や燕市・警察署と自転車教室の指導に協力。校外学習引率なども支援。
吉田地区まちづくり協議会	総合学習等の支援。 学区内の日々の生活安全を守るため、防犯巡回などを実施。(防犯部)
食育改善推進委員会	味噌づくり、味噌を使った調理学習等の支援。
吉田小・PTA街頭指導	春・秋、交差点や危険箇所です立哨し、安全確保や交通安全指導を実施。
吉田おはなしの会	学年児童に読み聞かせを実施。
フラワーサロンクラブ	玄関前や校庭に多くの花を咲かせ、たくさんの笑顔が生まれるよう支援。
日本赤十字燕吉田地区	マラソン記録会におけるけがの応急処置など。

◎吉小わくわくボランティア募集！！・・・できることをできる時間にすることを忘れずに無理なく参加できる貴方をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

吉田小学校 (0256) 93-3246 (教頭)
地域コーディネーター (堀 健一)